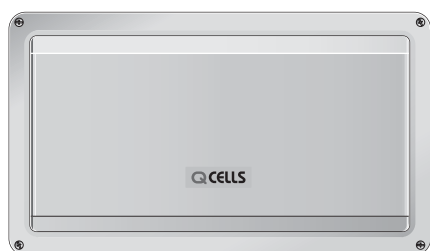


取扱説明書 (お客様保管)

住宅用太陽光発電システム 屋外用集中型パワーコンディショナ (接続箱一体型) (遠隔出力制御システム対応型)

品番 **HQJP-V55-A2** (5.5kW タイプ)
HQJP-V44-A2 (4.4kW タイプ)



このたびは、パワーコンディショナをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～3ページ)を必ずお読みください。
- この商品を利用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This equipment is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other countries.

も く じ

安全上のご注意	2	使用の前
システムの構成とはたらき	4	
各部の名前	5	
ご使用前に	7	

本体操作		使用方法
運転	8	
停止	9	
一括制御リモコンによる操作		
運転	10	
停止	11	
発電電力の表示	12	
積算電力量の表示	13	

こんなときは	14	必要なとき
一括制御リモコンの点検コード	16	
点検とお手入れのしかた	17	
太陽光発電システム整定値のお客様控え	18	
使用後のお願い	18	
仕様	19	
保証とアフターサービスについて	裏表紙	



安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。


 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
---	-----------------------	---	----------------------------------

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)







 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。
--	--

警告

設置環境について

 必ず守る	<p>■運転前に次のことを確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 製品質量（保護ガード・壁取付板などを含み約 30 kg）に十分耐える取り付けか（落下によるけがや故障のおそれ） ● 激しい風雨にさらされないか（水の浸入による感電、発煙・発火のおそれ） ● 潮風が当たらないか（腐食による感電、発煙・発火のおそれ） ● 腐食性ガス、温泉など硫化ガスの発生はないか（感電、発煙・発火のおそれ） ● 爆発性・可燃性ガス、引火性液体は近くにないか（爆発・火災のおそれ） ● 冬季に雪に埋もれるおそれや、屋根からの落雪による衝撃を受けないか（製品落下による事故のおそれ） ● C 種接地相当工事（ただし接地抵抗 100 Ω 以下）が行われているか（感電のおそれ） ● 一括制御リモコンは屋内や屋外設置用 BOX 内に設置されているか（感電、故障のおそれ）
--	--

取り扱いについて

 接触禁止	<p>■機器本体や保護ガードに手を触れたり、保護ガード周辺のすき間に指を入れない けがややけどのおそれがあります。</p>	 必ず守る	<p>■お手入れをする際は、運転を停止し太陽光発電システム専用ブレーカを OFF（切）にする やけどや感電のおそれがあります。</p>
 禁止	<p>■上に乗ったり、物を置いたり、ぶら下がったりしない 転落、落下によるけがや事故のおそれがあります。別売の平地置台にも手をかけたり乗ったりしないでください。（設置時）</p>		<p>■異常・故障時は直ちに運転を停止し、太陽光発電システム専用ブレーカを OFF（切）にする そのまま運転を続けると、感電、火災や故障の原因になります。</p>
 分解禁止	<p>■分解・改造・お客様ご自身での施工・修理は行わない 火災、感電、故障の原因になります。</p>	 禁止	<p>■衝動・振動を加えない 落下によるけが、故障の原因になります。</p>
 ぬれ手禁止	<p>■一括制御リモコンはぬれた手で触れたり、ぬれた布で拭かない 感電、故障の原因になります。</p>		<p>■水抜き穴を塞いだり、水抜き用キャップを外したりしない 感電、発煙、故障のおそれがあります。</p>

⚠ 注意

設置環境について



必ず守る

■ 運転前に次のことを確認する

- 必要な放熱スペース（5 ページ参照）が確保されているか（発煙・発火・故障のおそれ）
- 屋内設置の場合、壁紙の変色が気にならないか（高温によるホコリ付着で壁紙変色のおそれ）

取り扱いについて



接触禁止

- 雷鳴時、災害発生時にはパワーコンディショナや一括制御リモコンに手を触れない
感電のおそれがあります。



禁止

- ペースメーカー装着者は、パワーコンディショナ本体に手の届く範囲に近づかない
ペースメーカーに影響を与えるおそれがあります。



必ず守る

- 運転スイッチ操作時以外は必ず運転スイッチ扉を閉める
水の浸入により、感電・故障のおそれがあります。



禁止

- パワーコンディショナや一括制御リモコンの近くで発熱機器や蒸気の出る機器、火気を使用しない
ストーブ、加湿器、炊飯器などを近くで使用しないでください。感電・火災・故障の原因になります。
- 水没、埋雪した後は使用しない
感電や発火のおそれがあります。お買い上げの販売店や施工店にご相談ください。
- 近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない
やけどや火災のおそれがあります。

設置・使用上のお願い

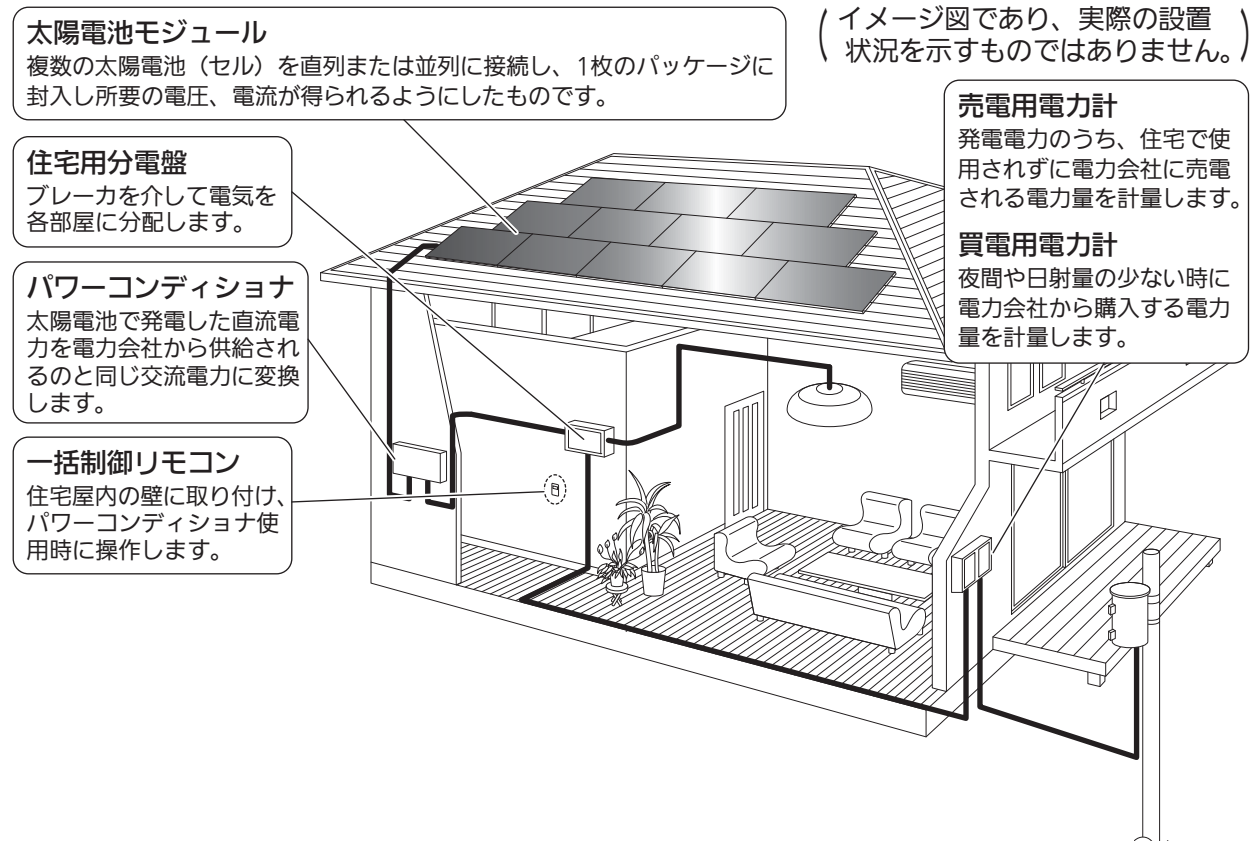
- アマチュア無線のアンテナが近隣にあるところでは、無線機にノイズが発生するおそれがあります。
- ラジオ・携帯電話などは、パワーコンディショナの近くで使用しないでください。
受信障害発生可能性があります。
- 電氣的雑音の影響を受けると困る電気製品は、パワーコンディショナの近くで使用しないでください。
電気製品の正常な動作ができなくなる原因になります。

システムの構成とはたらき

パワーコンディショナは太陽電池モジュールの直流電力を交流電力に変換し、商用電源として住宅用分電盤に供給します。商用電源とは電力会社から供給される交流電源のことです。

● 連系運転（通常時）

- ・ご家庭の商用電源と接続し、電力を供給します（連系運転）。
- ・ご家庭の消費電力量とパワーコンディショナの発電量に応じて自動的に電力会社との間で売買電されます。（電力会社との契約によります。）
- ・日没時など太陽電池モジュールの発電がなくなった場合、自動的にパワーコンディショナは運転を停止し、日の出時に発電を開始すると自動的に運転を再開します。
- ・商用電源が停電するとパワーコンディショナは自動的に運転を停止し、復電すると自動的に運転を再開します。



● 遠隔出力制御について

本製品は、2015年1月22日公布の電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法施行規則の一部を改正する省令と関連告示に対応した機器です。

遠隔出力制御を行うためには、対応した以下の機器が必要です。

- ・パワーコンディショナ（遠隔出力制御対応）
- ・出力制御ユニット（送信ユニット、モニター等）

また、電力会社によっては、原則インターネット接続が必要です。

なお、インターネット回線をご準備いただく場合は、下記の費用はお客様のご負担となります。

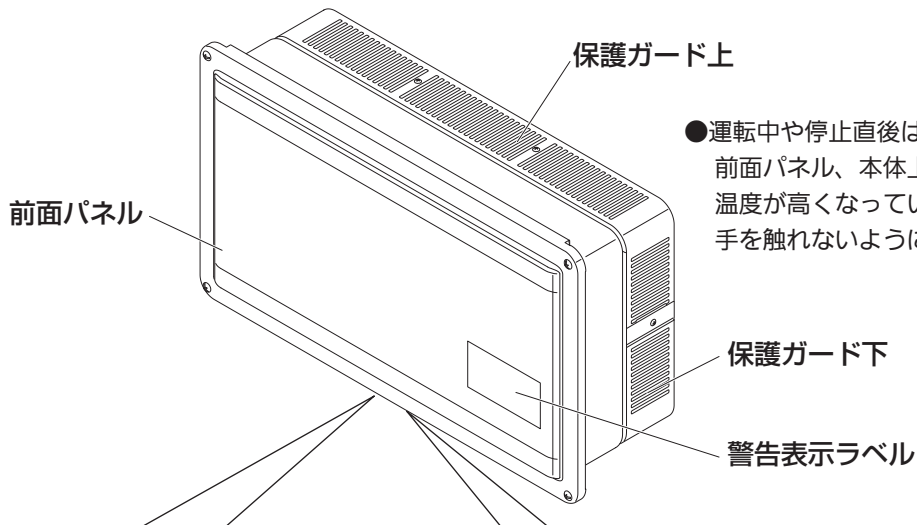
- ・インターネット回線契約・利用に伴う費用 など

遠隔出力制御の内容につきましては、各電力会社のホームページをご覧ください。

遠隔出力制御の対応のため、出力制御ユニットのファームウェア（ソフトウェア）の更新や設置場所での作業（有償）が必要となる場合もあります。

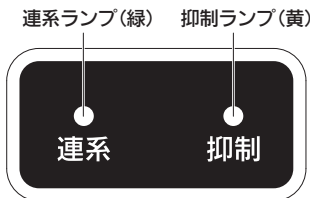
各部の名前

パワーコンディショナ本体



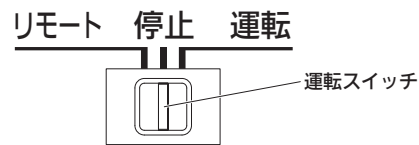
●運転中や停止直後は、保護ガードや前面パネル、本体上面、左右側面の温度が高くなっています。手を触れないようにしてください。

状態表示部



※運転状況に応じて、連系、抑制、それぞれのランプが点灯します。(連系移行中は点滅します。)
 ※ランプが全点滅時には、商用電源の停電中や太陽光発電システム専用ブレーカがOFF(切)の状態など、パワーコンディショナの運転に問題が発生しています。一括制御リモコンがある場合には、一括制御リモコンの表示をご確認ください。一括制御リモコンがない場合には、お買い上げ販売店へご確認ください。

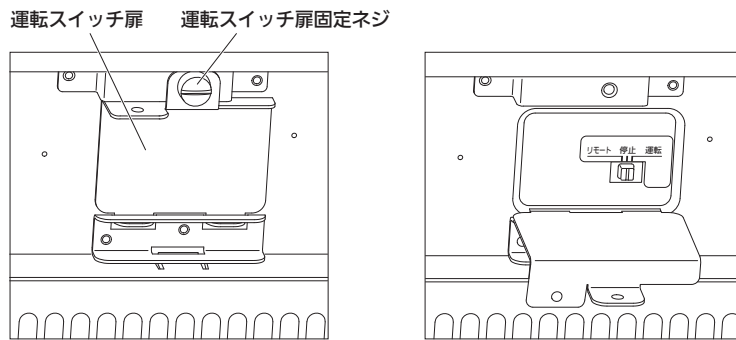
運転スイッチ



※底面の運転スイッチ扉を開けた場合のイラストです。本パワーコンディショナは一括制御リモコンがなくても運転できます。本パワーコンディショナのみで運転する場合は「運転」、一括制御リモコンを使用して運転する場合は、「リモート」にしてください。

運転スイッチ扉の開け方

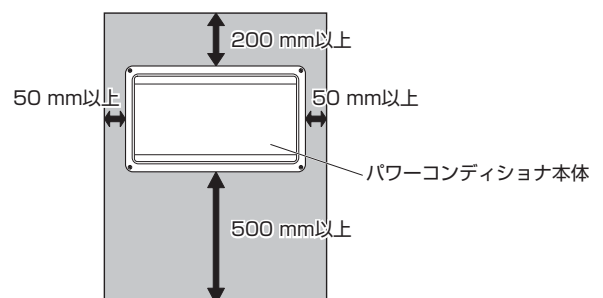
右図の運転スイッチ扉固定ネジを緩めて運転スイッチ扉を開けてください。運転スイッチ扉固定ネジが緩まない場合は、マイナスドライバーをご使用ください。



ご注意

●運転スイッチ扉を開ける際は、運転スイッチ扉と運転スイッチ扉固定ネジが落下しないように気をつけてください。

■パワーコンディショナの前方には点検スペースとして800 mm以上を確保することを推奨します。また、上下左右は放熱、点検のために、右図に示すスペースが必要です。絶対に物を置かないでください。



各部の名前（つづき）

一括制御リモコン（別売品：HQJP-RM-A1）

一括制御リモコンで最大5台（工場出荷時）までのパワーコンディショナを操作できます。パワーコンディショナおよび一括制御リモコンの設定を変更することで、最大10台まで操作することができます。設定変更を行う場合、お買い上げの販売店または施工店へご連絡ください。

ご注意

- 本パワーコンディショナは本体で発電量の表示が確認できません。発電量を確認するには、一括制御リモコンの設置が必要となります。
- 最大10台の設定変更は、各機器の施工説明書で対応可能なパワーコンディショナ、送信ユニット等をご確認のうえ実施してください。

運転/停止スイッチ

運転に切り替えると赤い色が現れます

表示部

発電量・運転状態を表示します
※図は説明のため、全ての内容を表示しています

連系ランプ（緑）

連系運転中に点灯します（8ページ）



自立ランプ

本パワーコンディショナには自立運転機能がないため、点灯しません。ただし、他に自立運転機能を有するパワーコンディショナを接続時、その自立運転中は点灯します。

総積算ボタン


総積算電力量を表示します（13ページ）

パワコン切換ボタン

ボタンを押すたびに各パワーコンディショナの発電量を表示します（12ページ）
また、総積算ボタンを押してから、パワコン切換ボタンを押すと各パワーコンディショナの総積算電力量を表示します（13ページ）
（ボタン操作は、爪や硬いもの、先のとがったもので行わないでください。破損や故障の原因になります。）

専用別売品

	部品名	長さ	品番	用途
通信ケーブル	① パワコン・リモコン間ケーブル	5 m	POKC050B	パワーコンディショナ本体と一括制御リモコンを接続します
		15 m	POKC150B	
		30 m	POKC300B	
	② パワコン間ケーブル	5 m	POKC050P	パワーコンディショナを複数台設置する場合に、パワーコンディショナ本体を相互にわたり接続します
30 m		POKC300P		
③ リモコン・送信U間ケーブル	3 m	POKC030F	送信ユニットを設置した場合に一括制御リモコンやパワーコンディショナと接続します	
		POKC150F		
	15 m	POKC150C		
④ パワコン・送信U間ケーブル	15 m	POKC150C		
	30 m	POKC300C		

	部品名	形状	品番	用途
リモコン	一括制御リモコン		HQJP-RM-A1	一括制御リモコン1台で、複数台のパワーコンディショナを操作することができます（パワーコンディショナ本体に運転・停止スイッチおよび表示部がありますので、一括制御リモコンは必須ではありません）

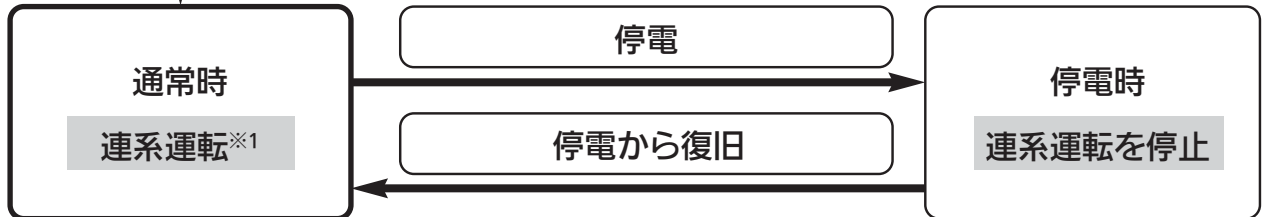
	部品名	形状	品番	用途
設置用部材	屋外パワコン用平地置台セット		POKBP55UD2G	パワーコンディショナ本体を壁に掛けずに平地置きする場合に必要です

ご使用前に

はじめてお使いになるときは、施工店にて『連系運転を開始する』までを実施していただきます（運転前に電力会社との連系協議と竣工検査が必要です。）

電源を入れる（本ページ）

連系運転を開始する（8、10ページ）

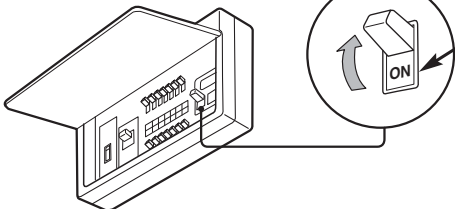


※1 ご利用地域の周波数に自動設定されます。

電源を入れる

住宅用分電盤の
太陽光発電システム
専用ブレーカ

※分電盤と別置きの場合があります。



1. 住宅用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカをON（入）にする

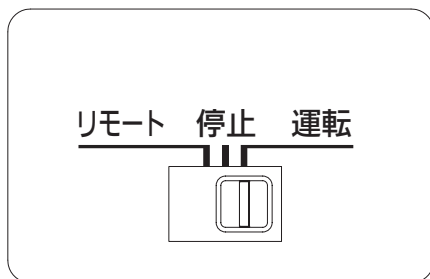
本体操作

運転

昼間の晴れているときに、停電でないことを確認してから操作を始めてください。

連系運転を開始する

パワーコンディショナは、商用電源の状態（停電の有無）や太陽電池の状態（発電の有無）に応じて、自動的に運転・停止を行いますので、ふだんの運転操作は不要です。お客様の操作で運転を停止した場合（9 ページ）は、以下の操作で運転を再開することができます。



※上のイラストは、パワーコンディショナの操作部を底面から見たイラストです。

1. パワーコンディショナ下部の運転スイッチを「運転」にする

- 連系ランプが点滅し、約300秒（5分）後、運転を開始します。



- 連系ランプが点灯します。
- 日射条件などにより、待機時間が変わる場合があります。

お知らせ

- 一括制御リモコン使用時の電力量表示は、ある程度の誤差を含みます。（システムの容量、天候などによっても変化します。）
発電量の目安としてご活用ください。（本製品は、計量法の対象ではありません。）
- 商用電源が停電した場合、パワーコンディショナは自動的に運転を停止します。商用電源が正常にもどれば5分程度で自動的に運転を再開します。（運転スイッチは操作不要です。）
※工場出荷時の値です。変更された場合はこの限りではありません。
- 夜間や日中晴れていても太陽電池モジュールに雪が積もっているときなど、太陽電池モジュールが発電しなくなると、パワーコンディショナは運転を自動的に停止し連系ランプも消灯します。

■ 抑制ランプが点灯しているとき（これは機器の故障ではありません。）

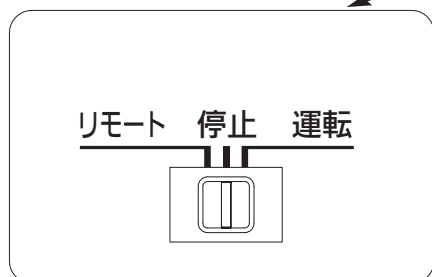


- 抑制ランプが点灯するときは、商用電源の電圧が規定値（電力会社による指定値）を超えないように、パワーコンディショナは発電電力を自動で抑えています。機能が働くと売電量が少なくなる可能性があります。
- 商用電源の電圧が正常範囲に戻れば、自動的に電圧上昇抑制を停止し、抑制ランプも消灯します。頻繁に発生する場合は、電力系統側での対策が必要ですので、お買い上げの販売店や管轄の電力会社にご相談ください。

停止

連系運転を停止するには

パワーコンディショナは、商用電源の状態（停電の有無）や太陽電池の状態（発電の有無）に応じて、自動的に運転・停止を行います。お客様の操作により停止させることもできます。



※上のイラストは、パワーコンディショナの操作部を底面から見たイラストです。

1. パワーコンディショナ下部の運転スイッチを「停止」にする



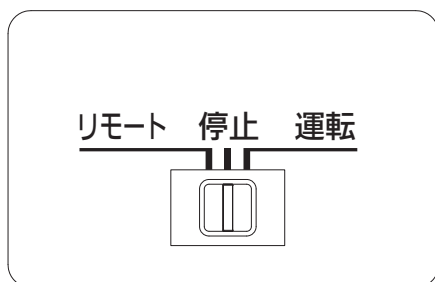
●連系ランプが消え
運転を停止します

<お知らせ>

- 日没後は、自動的に運転を停止します。
(上記操作を行った場合は、翌朝、太陽電池が発電を始めても運転を開始しません。)
- 運転を開始する時は、8ページの運転に従って操作してください。

太陽光発電システム全体を停止したい場合は…

※異常時や故障時、お手入れを行う前には、必ず下記操作を行いシステム全体を停止してください。



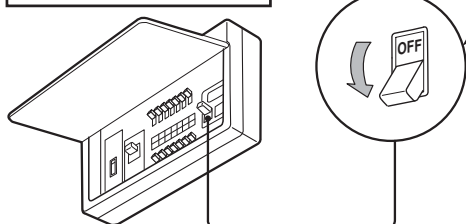
※上のイラストは、パワーコンディショナの操作部を底面から見たイラストです。

1. パワーコンディショナ下部の運転スイッチを「停止」にする

2. 太陽光発電システム専用ブレーカをOFF (切) にする

住宅用分電盤の
太陽光発電システム
専用ブレーカ

※分電盤と別置きの場合があります。



一括制御リモコンによる操作

別売品の一括制御リモコンを用いて操作できます。(本体の運転スイッチは、リモートに設定する必要があります。設定方法は5ページを参照ください。)

運転

昼間の晴れているときに、停電でないことを確認してから操作を始めてください。

連系運転を開始する

パワーコンディショナは、商用電源の状態(停電の有無)や太陽電池の状態(発電の有無)に応じて、自動的に運転・停止を行いますので、ふだんの運転操作は不要です。お客様の操作で停止した場合(11ページ)は、以下の操作で再開することができます。



1. 停止 運転 スwitchを「運転」にする



(運転に切り替えると赤い色が現れます)

●ピッと音がして「待機中あり」、0.0kWと表示

●約5分後、運転を開始



●「発電」および発電電力を表示(この例では12.5 kW)

●連系ランプが点灯

●日射条件などにより、待機時間が変わる場合があります。

●自立ランプ(橙)が点灯した場合は、太陽光発電システム専用ブレーカがOFF(切)になっていないか確認してください。

※上のイラストは3台接続時の例です。

お知らせ

- 電力量表示は、ある程度の誤差を含みます。(システムの容量、天候などによっても変化します。)発電量の目安としてご活用ください。(本製品は、計量法の対象ではありません。)
- 商用電源が停電した場合、パワーコンディショナは自動的に運転を停止します。商用電源が正常にもどれば5分程度で自動的に運転を再開します。(運転スイッチは操作不要です。)
※工場出荷時の値です。変更された場合はこの限りではありません。
- 夜間や日中晴れていても太陽電池モジュールに雪が積もっているときなど、太陽電池モジュールが発電しなくなると、パワーコンディショナは運転を自動的に停止します。
- 日没後は何も表示されません。

■「抑制」の表示について(これは機器の故障ではありません。)



(発電電力の値は例です)

●表示部に「抑制」が表示されるときは、商用電源の電圧が規定値(電力会社による指定値)を超えないように、パワーコンディショナは発電電力を自動で抑えています。機能が働くと売電量が少なくなる可能性があります。

●商用電源の電圧が正常範囲に戻れば、自動的に電圧上昇抑制を停止し、抑制ランプも消灯します。頻繁に発生する場合は、電力系統側での対策が必要です。お買い上げの販売店や管轄の電力会社にご相談ください。



(パワコン1の累積抑制時間が75分の例)

●総積算ボタンを長押し(5秒程度)すると、パワコン1の累積抑制時間が表示されます。(総積算ボタンをさらに2回押すか、5秒放置で元の表示に戻ります)

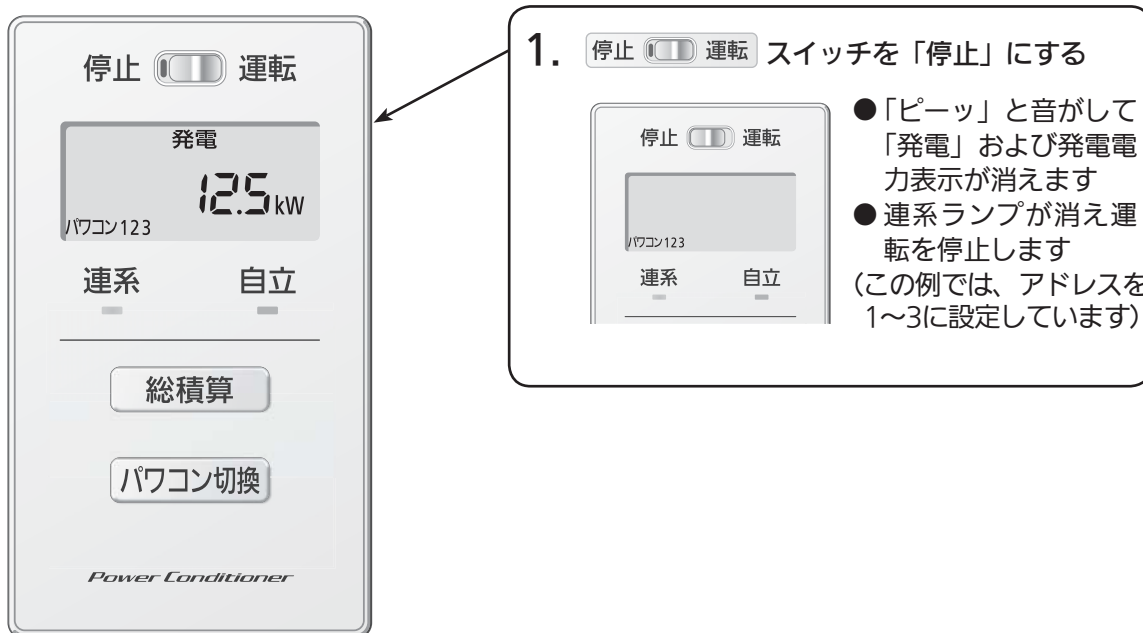
●累積抑制時間表示中にパワコン切換ボタンを押すと、各パワーコンディショナの累積抑制時間が順に表示されます。

(総積算ボタンをさらに2回押すか、5秒放置で元の表示に戻ります)

停止

連系運転を停止するには

パワーコンディショナは、商用電源の状態（停電の有無）や太陽電池の状態（発電の有無）に応じて、自動的に運転・停止を行います。お客様の操作により停止させることもできます。



※上のイラストは3台接続時の例です。

お知らせ

- 日没時は、自動的に運転を停止します。
（上記操作を行った場合は、翌朝、太陽電池が発電を始めても運転を開始しません。）
- 運転を開始する時は、10 ページの運転に従って操作してください。
- 一括制御リモコン操作時に太陽光発電システム全体を停止させる時は、一括制御リモコンを停止にし、さらに9 ページの「太陽光発電システム全体を停止したい場合は・・・」に従って操作してください。

一括制御リモコンによる操作 (つづき)

発電電力の表示

- 各パワーコンディショナの発電電力を一括制御リモコンで簡単に確認できます。
- パワーコン切換** ボタンを押す前は、各パワーコンディショナの合計の発電電力が表示されています。

各パワーコンディショナの発電電力を表示させる



※上のイラストは3台接続時の例です。

1. **パワーコン切換** ボタンを押す



- 各パワーコンディショナの発電電力を表示

2. **パワーコン切換** ボタンを押すたびに
パワコン123 → パワコン1
↑ ↓
パワコン3 ← パワコン2



- 左記のように表示が切り替わります (この例ではパワコン2の発電電力4.2 kW、パワコン3の発電電力4.3 kW、パワコン3台の合計発電電力12.5 kW)



- 操作しないと約5秒後に元の画面に戻ります



積算電力量の表示

- 各パワーコンディショナの総積算電力量と合計の総積算電力量を一括制御リモコンで簡単に確認できます。
- 夜間にパワーコンディショナが自動で運転を停止している場合でも、以下の操作は可能です。

各パワーコンディショナの合計の総積算電力量を表示させる



※上のイラストは3台接続時の例です。

1. 総積算 ボタンを押す

総積算
12345 kWh
パワコン123

- 太陽光発電システムを設置し、発電を開始してからの各パワーコンディショナの合計の総積算電力量を表示（この例ではパワーコンディショナ3台の合計が12345 kWh）

2. 再度 総積算 ボタンを押す

発電
12.5 kW
パワコン123

- 各パワーコンディショナの合計の発電電力表示に戻る
- 操作しないと約5秒後に元の画面に戻ります

各パワーコンディショナの総積算電力量を表示させる



※上のイラストは3台接続時の例です。

1. 総積算 ボタンを押してから

パワコン切換 ボタンを押す

総積算
678 kWh
パワコン1

- 太陽光発電システムを設置し、発電を開始してからの各パワーコンディショナの総積算電力量を表示

2. パワコン切換 ボタンを押すたびに

総積算
90 kWh
パワコン 2

- 各パワーコンディショナの総積算電力量が順に表示されます
- 操作しないと約5秒後に元の画面に戻ります

こんなときは

本体の状態表示やリモコンの表示が以下の場合には、下記を参考に処置してください。

表示	処置内容
本体状態表示部のランプが全点滅している	パワーコンディショナの運転に問題が発生しています。 お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。
日中、一括制御リモコンに何も表示されない	商用電源と接続するケーブル、一括制御リモコンの通信線の断線または一括制御リモコンの故障の可能性があります。 お買い上げの販売店または施工店に連絡してください。
夜間、一括制御リモコンに何も表示されない	夜間は一括制御リモコンには何も表示されません。
一括制御リモコンに「抑制」と表示されている	商用電源の電圧が規定値（電力会社による指定値）を超えないように、パワーコンディショナは出力を抑制しますが、異常ではありません。売電量が少なくなる可能性があります。 商用電源の電圧が正常な範囲内にもどれば、自動的に抑制動作をやめて、通常運転にもどります。 頻繁に発生する場合は、電力系統側での対策が必要ですので、お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。
発電電力が少ない（「抑制」の表示なし）	発電電力の低下は、機器故障だけでなく、日射状況や系統の電圧によって起きる場合もありますが、異常ではありません。 頻繁に発生する場合は、設置場所等の変更が発生する場合がありますので、お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。

お知らせ

● 発電電力について

太陽電池の定格出力は、JIS（日本工業規格）で定められた一定の条件下で算出された数値が示されています。実際の発電は、日射強度や周囲温度、設置された方位や角度により異なります。
したがって、晴天日であっても常に定格通りの発電が行われているわけではありません。晴天の日中では、定格出力の約7～8割の発電電力が、おおよその目安です。なお年間の発電電力量の目安は南面設置で太陽電池1kWあたり約1,000kWhです。

● 積雪時の運転について

太陽電池モジュール上に積雪があると、太陽光がさえぎられるため発電量が減ります。積雪量が増えてくるとパワーコンディショナが停止することがありますが、故障ではありません。
太陽電池モジュール上の積雪が減れば自動的に運転を再開します。

● 余剰電力（売電電力）料金のご請求

電力会社が、毎月売電用電力量計を読み取り、お客様に購入電力量を通知します。これにもとづき電力会社に請求を行ってください。自動で振込みがある電力会社もあります。電力会社との契約書などをご確認ください。

● パワーコンディショナが発生する音について

キュー音	制御電源の起動音です。
ジージー音 チリチリ音 チャリチャリ音 キー音	パワーコンディショナ運転によるインバーターの高周波スイッチング動作により発生する音です。
カチッ音	連系用リレーの動作音です。 (運転開始時と、停止時に発生します。)
ブーン音	内蔵ファンの動作音です。

左記の音は故障ではありません

- キュー音は朝・夕の日射の少ないときや、太陽電池モジュールが降雪・落ち葉などで覆われていると、しばらくの間発生することがありますが故障ではありません。
- とくに小さなお子様や青少年の方に周波数の高い音（キー音）が聞こえる場合がありますが故障ではありません。

● パワーコンディショナの温度上昇について

日射が多く、パワーコンディショナが最大電力付近で運転を続けると、パワーコンディショナの放熱フィンや上面などが温度上昇しますが、故障ではありません。

パワーコンディショナ本体は不用意に手を触れないでください。やけどの原因になることがあります。

● パワーコンディショナのおいについて

パワーコンディショナの使用当初や運転状況により、においがすることがありますが故障ではありません。

一括制御リモコン使用時

● 一括制御リモコンの連系ランプの点滅について

一括制御リモコンで複数のパワーコンディショナを操作時、停止中（待機中、点検コード表示中を含む。ただし、本体操作で停止させた機器は除く。）のものがあると、連系ランプが点滅することがあります。

点検コードが表示された場合、16 ページの内容に従って処置してください。

● 「リモート無効機器あり 本体運転 / 本体停止」の表示について

以下の場合是一括制御リモコンの表示部に「リモート無効機器あり 本体運転 / 本体停止」と表示されます。該当のパワーコンディショナについては一括制御リモコンでの運転操作はできません。

- ・ 運転スイッチが「運転」または「停止」に設定されている（リモートに設定されていない）パワーコンディショナを接続している場合。（一括制御リモコンでの運転操作を行う場合は「リモート」に設定してください。）
- ・ 屋内用集中型パワーコンディショナを渡り接続している場合。
（屋内用集中型パワーコンディショナは一括制御リモコンでの運転操作に対応していません。）

● 停電時のデータ保存について

太陽電池モジュールの発電停止のタイミング（日没や日射不安定時）と商用電源の停電が重なった場合には、積算電力量などのデータが正常に保存されない場合があります。

● 電力量表示の最大値について

■ 一括制御リモコンの場合

- ・ 各パワーコンディショナの積算電力量を 199999 kWh まで表示し、それを超えると 0 kWh 表示に戻り積算を続けます。また、各パワーコンディショナの合計の積算電力量は工場出荷時設定（最大 5 台接続）では 999999 kWh まで、最大 10 台接続設定へ変更した場合は 1999999 kWh まで表示され、それを超えると 0 kWh 表示に戻り積算を続けます。
- ・ 各パワーコンディショナの累積抑制時間を 999999 分まで表示し、それを超えても 999999 分表示が続きます。

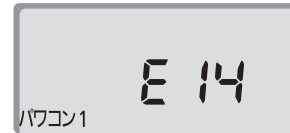
● 下記の設定を変更する場合、お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。

また、各設定内容の詳細につきましても、併せてご確認ください。

- ・ 保護リレー時限の設定について（工場出荷時は自動（300 秒）になっています。）
保護リレー時限の設定を手動復帰にすると、系統側で異常があった場合に異常が解消されても、自動で復帰しません。本体表示もしくは一括制御リモコンにて、E99 が表示されていることを確認して運転スイッチ操作により、手動復帰させてください。

一括制御リモコンの点検コード

一括制御リモコンの表示部に右図のような点検コード（E または F と数字の組み合わせ）が表示された場合は、下記に従って処置してください。



パワコン1

（パワコン1でE14の点検コードが表示された場合）

●連系運転時の点検コード

1. E の点検コード（商用電源側）の内容と処置の仕方

これは故障ではありません。	
<p>E 1 } E 14</p>	<p>停電または商用電源の乱れによる運転停止原因が解消されれば、自動的に運転を再開します。</p> <p>商用電源が正常になるまでお待ちください。 住宅内の他の電気製品が、正常に使用できるにもかかわらず、長い間この状態が継続する場合は太陽光発電システム専用ブレーカが OFF（切）でないかを確認し、OFF（切）であれば ON（入）にしてみてください。また、太陽光発電システム専用ブレーカが頻繁に OFF（切）になるようであれば、お買い上げの販売店にご連絡ください。</p>
<p>E 99</p>	<p>停電または商用電源の乱れにより運転停止しました 原因は解消されているため、運転・停止スイッチをいったん停止にしてから再度運転にすることで 10 秒後に運転を再開します。 （保護リレー時限の設定が手動になっているため自動復帰しません）</p> <p>頻繁に表示されるようであれば、お買い上げの販売店にご連絡ください。</p>

お知らせとお願い

- パワーコンディショナ本体の運転スイッチまたは、一括制御リモコンの運転 / 停止スイッチを「運転」にしたときに連系ランプと抑制ランプが点滅する場合は、商用電源が停電しているか、太陽光発電システム専用ブレーカが OFF（切）になっている可能性があります。
一度、運転スイッチまたは、運転 / 停止スイッチを「停止」にし、停電であれば商用電源が正常に戻った後に、太陽光発電システム専用ブレーカが OFF（切）になっていれば ON（入）にし、再度運転スイッチまたは、運転 / 停止スイッチを「運転」にしてください。太陽光発電システム専用ブレーカが頻繁に OFF（切）になるようなときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 複数のパワーコンディショナで点検コードが表示された場合、一括制御リモコンの表示部には、2 秒毎に各パワーコンディショナの点検コードを表示します。

2. F の点検コード（パワーコンディショナ側）の内容と処置の仕方

お客さまの使用環境により設定変更が必要となる場合があります。

こんなときは再度ご確認ください。	
<p>F 1 } F 50</p>	<p>正常にもどれば 10 秒～数分後に自動的に運転を再開します。 運転を再開しない場合や、頻繁に表示するようなときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。</p>
<p>F 57 } F 70</p>	<p>パワーコンディショナを停止した後、再度運転してください。 正常にもどれば 10 秒～数分後に運転を再開します。 頻繁に表示するようなときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。</p>
<p>F 16</p>	<p>通信が復帰し正常にもどると自動的に運転を再開します。 頻繁に表示するようなときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。</p>

※ F の点検コードでは、一括制御リモコンのブザーが鳴ります。ブザーを止めるには、一括制御リモコンの運転 / 停止スイッチを「停止」にしてください。

点検とお手入れのしかた

⚠ 注意



禁止

- 水洗いはしない
- 高圧式洗浄装置や洗剤、薬品類（スプレー剤などを含む）を使わない
火災・感電、故障の原因になります。

日常点検

● 製品を長く安全にお使いいただくために、日常の点検を行ってください。

特に自然災害（風水害、地震等）の後は、販売店による点検をお勧めします。（有償）
水没時は感電のおそれがありますので、パワーコンディショナに近づかないでください。
また、水が引いても触らずに、処置はお買い上げの販売店にご相談ください。
異常・故障時には、直ちに運転を停止して太陽光発電システム専用ブレーカを OFF（切）にし、
お買い上げの販売店にご相談ください。

- ・正常に発電していますか？
底面の状態表示部のランプが全点滅していたら、5 ページの内容に従って処置してください。
- ・普段と異なる音、振動、異臭はありませんか？
- ・本体の傷、打痕やサビ、または PFD 管の割れなどはありませんか？

お手入れのしかた

1. パワーコンディショナ本体の運転スイッチまたは、一括制御リモコンの運転／停止スイッチを「停止」にして、運転を停止します。
2. 太陽光発電システム専用ブレーカを OFF（切）にします。
3. パワーコンディショナ本体が十分に冷えたことを確認します。
4. 置かれた物や落ち葉などを取り除いたり、乾いた布または固く絞った布で本体を拭いてください。
一括制御リモコンが汚れたら、乾いた布でから拭きしてください。
 - パワーコンディショナ本体や一括制御リモコンには直接水をかけないでください。
 - シンナー・アルコールなどの溶剤は使わないでください。（変形・変色の原因になります）

お手入れ後は、太陽光発電システム専用ブレーカを ON（入）にし、パワーコンディショナ本体の運転スイッチまたは、一括制御リモコンの運転／停止スイッチを「運転」にして、運転を行ってください。

特にこのような場合は

ご注意

以下の 3 つのケース、

- ・ 頻繁に漏電遮断機（ELCB）が動作した場合
- ・ 太陽電池パネルに損傷（割れ、傷、亀裂、変形）が見られた場合
- ・ 太陽光発電システムを取り外す場合

のいずれかに該当する場合は、太陽電池および架台には手を触れずに下記の①②をおこなってから、販売店もしくは施工店までご連絡ください。

- ① パワーコンディショナ本体の運転スイッチまたは、一括制御リモコンの運転／停止スイッチを「停止」にする。
- ② 太陽光発電システム専用ブレーカを OFF（切）にする。

太陽光発電システム整定値のお客様控え

保護機能	整定値	時限
過電圧 OVR	V	秒
不足電圧 UVR	V	秒
周波数上昇 OFR	Hz	秒
周波数低下 UFR	Hz	秒

保護機能	整定値	時限
単独運転検出	受動的方式	度 0.5 秒以内に動作
	能動的方式	----- 0.2 秒以内に動作
	復帰時間	秒
電圧上昇抑制	V	
力率		

使用後のお願い

- 使用後は速やかにお買い上げの販売店へ連絡し、取りはずし、廃棄を行ってください。
太陽光発電システムは、関係法令（廃棄物処理法、建設リサイクル法など）に従って産業廃棄物として適切に廃棄してください。詳しくは、平成 28 年 4 月 1 日に環境省より公表された「太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン（第一版）」を参照ください。
- 取りはずし、廃棄等を行う場合は、専門技術を要するため、必ずお買い上げの販売店へお問い合わせください。

仕様

● パワーコンディショナ（系統連系用）

項目	仕様	
品番	HQJP-V55-A2	HQJP-V44-A2
主回路方式	電圧型電流制御方式	
スイッチング方式	正弦波 PWM 方式	
入力回路数	4 回路	
定格入力電圧	DC330 V	
入力運転電圧範囲	DC50 V ~ DC450 V	
定格出力	5.5 kW (力率 1.0 時) 5.5 kW (力率 0.95 時)	4.4 kW (力率 1.0 時) 4.4 kW (力率 0.95 時)
定格出力電圧	AC202 V (単相 2 線式 但し連系は単相 3 線式)	
定格力率	0.95	
定格出力周波数	50 Hz/60 Hz	
定格出力電流	28.7 Arms	22.9 Arms
電力変換効率	95.5% (入力電圧 DC330 V 時、力率 1.0 時) 95% (入力電圧 DC330 V 時、力率 0.95 時、いずれも JIS C 8961 による)	
絶縁方式	トランスレス方式 (直流地絡保護機能、出力直流分検出機能)	
電力制御方式	太陽電池最大電力追尾制御	
保護機能	直流過電圧、直流不足電圧、直流過電流、交流過電流、直流地絡、温度異常	
連系保護機能	交流過電圧、交流不足電圧、周波数上昇、周波数低下、電圧上昇抑制、多数台連系対応型単独運転防止、FRT (系統事故時運転継続) 要件、力率一定制御	
単独運転検出機能	能動方式：ステップ注入付周波数フィードバック方式 受動方式：電圧位相跳躍検出方式	
消費電力	運転時	0 W/0 VA
	待機時	1 W 未満 / 50 Hz : 25 VA 未満、60 Hz : 30 VA 未満
遠隔出力制御機能	対応 (別途必要となる機器あり)	
外形寸法	706 (幅) × 407 (高さ) × 214 (奥行) (mm)	
質量	約 26 kg (保護ガード・壁取付板などを除く)	
設置場所	屋外・屋内	
動作温度	- 20 °C ~ + 50 °C	
動作湿度	90%以下 (結露のないこと)	
付属品	お客様用	取扱説明書 (1)
	施工用	施工説明書 (1)、検査成績書 (1)、工所用型紙 (1)、壁取付板 (1)、保護ガード (上・下) (各 1)、壁取付板固定ネジ M5X60 (11)、保護ガード固定ネジ M4X12 (6)、開閉器用端子カバー (4)、開閉器用圧着端子 (5.5-AF4A-S) (8)、アース線用圧着端子 (R5.5-5) (1)、系統側接続用ケーブル用圧着端子 (8-5NS) (3)、絶縁キャップ TCM-53 (赤 : 4/ 青 : 4/ 緑 : 1)、絶縁キャップ TCM-81 (青 : 3)、パテ (1)

● 一括制御リモコン（別売品）

項目	仕様	
品番	HQJP-RM-A1	
液晶表示部	W 50 × H 23 (mm)、7 桁表示 (工場出荷時は 6 桁表示の設定)	
データ通信方法	ワイヤード (RS-485)	
設置方法	屋内壁固定方式	
特徴機能	LED 表示部 (運転状態)、点検コード表示	
定格入力電圧	DC 8 V (パワーコンディショナより受電)	
最大消費電力	0.1 W	
使用温度範囲 (推奨)	- 20 °C ~ + 50 °C	
使用湿度範囲	90%以下 (結露のないこと)	
外形寸法	70 (幅) × 120 (高さ) × 18 (奥行) (mm) ※突起物を除く	
質量	0.09 kg (取付金具を除く)	
付属品	一括制御リモコン (取付金具を含む) (1)、リモコン用木ネジ (2)、かんたん操作ガイド (1)、パワコン番号識別ラベル (1)	

●この仕様は JIS (日本工業規格) に基づいた数値です。

保証とアフターサービスについて

●保証について

保証に関する内容につきましては、お買い上げの販売店の条件によるものとさせていただきます。詳しくは、お買い上げの販売店へご確認ください。

●修理を依頼される時

次のような場合は、ハイブリッドパワコンの運転を停止し、お買い上げの販売店へ連絡してください。

- ・ひんぱんにエラー表示が点灯する
- ・ブレーカが頻繁にオフになる
- ・誤って異物や水が内部に入った

■ご連絡の際は、次の項目をお知らせください。

- ・製造番号
- ・お買い上げ年月日
- ・ご住所、電話番号、お名前
- ・故障内容（表示部の内容）

製造番号：	
お買い上げ年月日 年 月 日	
ご住所	
電話番号	() -
お名前	
故障内容 (表示部の内容)	

商品のお問い合わせは	
商品・修理・トラブル・メンテナンス・別売品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店に相談してください。	
店名	
住所	
電話番号	() -
販売店押印欄	

ハンファQセルズジャパン株式会社 お問い合わせ先（相談窓口）

- ・フリーダイヤル 0120-801-170
- ・受付時間 平日9:00～17:00（土、日、祝日は除く）